

俳句ポスト 秋の部 特選句

森悦子 選(白山市俳句協会)

潮騒のよせる枕辺夜寒宿	愛知県	与玖 法破来
鶏頭の砂鉄のごとき種こぼる	山島台三丁目	福田 千鶴子
しまい湯の吾に優しき虫時雨	鶴来本町三丁目	北山 美和
秋高しペンギンが飛ぶ水族館	能美市	森田 香津美
高層の非常階段月の客	八ツ矢町	戸田 敬子
白芙蓉花嫁が来る過疎の村	柏町	大浦 春美
石垣に民の労あり菊日和	金沢市	五十嵐 一雄
いきつけの酒場が消える秋の雨	東京都	菊地 正男
もてなさる朱塗りの椀の茸汁	金沢市	羽柴 瑞枝
里山の風の匂ひの新酒かな	北海道	藤沢 直美
灰塚てふ低き盛土稲の花	能美市	北野 忠男
連峰を望むバス停早稲の色	森島町	林 外代治
山寺の鐘に合掌夕紅葉	徳光町	浜野 泰弘
鱗雲とんがり屋根の交番所	金沢市	梶 昭子
廃線に秋草繁り夕茜	野々市市	笹野 邦子
豊の秋のたり波打つ千枚田	黒瀬町	宮本 登代子
菊の香に心遊ばせ野立席	千代野東三丁目	村上 利江
駒駆くる牧場の朝の白露かな	東京都	高嶋 旅人
物語はいよいよ佳境ちちろ鳴く	中町	佃 久美子
踏切の地蔵の浮かぶ良夜かな	東京都	須崎 武尚

選者吟

秋灯や農民画家の筆の跡

森悦子

〈令和2年8月～10月 投句数1,127句, 投句者数 174人〉